

**平成30年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「アザタン村太陽光発電システム設置計画」 供与式の実施**

平成 31 年 3 月 7 日(木), 草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「アザタン村太陽光発電システム設置計画」の機材供与式典が, アルメニア北西部のシラク州アザタン村において開催されました(贈与金額: 68,218 米ドル(7,192,416 円))。本式典では, 山田在アルメニア日本大使と被供与団体である「ユーラシア」CPO のトロシャン代表, ペトロシャン・シラク州知事, イキリキャン・アザタン村村長他, 多くの地元住民が出席しました。

本計画は, アザタン村に太陽光発電所(70kW)を建設し, 村の公共施設でサービスを受ける住民に安定した電力を提供すると同時に, 節約された電気代を施設の維持管理やより良いサービスの提供に充てることで, 地域の発展に貢献することを目的とするものです。本システムの設置により, 村の利用者 1,100 人以上が直接的に裨益します。

※参考情報: アルメニア政府はエネルギー自給率向上のため, 2014 年-2025 年開発戦略等において, 再生可能エネルギーの普及を重要政策の一つに位置付けています。とりわけ, 太陽光発電が持つ潜在能力は高いとされ, エネルギーインフラ・天然資源省の統計では, 年間の一平方キロメートルあたりの日射量は 1,720 kWh と, 欧州全域の年間平均日射量 1,000 kWh を大きく上回ります。太陽光発電に適した気候に恵まれたアルメニアの中でも, 特にアザタン村が位置するシラク州は年間日照数が 320 日を超え, 今後太陽光発電の開発が進むと期待されています。



伝統的なアルメニアの賓客出迎えの儀式により
歓迎を受ける山田大使



山田大使とともにテープカットを行う
被供与団体「ユーラシア」 CPOのトロシヤン代表



山田大使による祝辞



山田大使、ペトロシヤン・シラク州知事、イキ
リキャン・アザタン村村長、「ユーラシア」
CPOのトロシヤン代表との記念撮影